

# やってみよう!! ワークシート



新聞には毎日、たくさんの記事や写真、広告がのっています。世界的な大ニュースから身近な地域の話までさまざまです。神戸新聞社は、その中から知ってもらいたいことや深く考えてほしい記事を取り上げ、ワークシートを作って自宅学習などに活用してもらっています。今回は、西脇市への寄付金が子育て世帯へ回るといのお話です。

## 子育て世帯へのおすそわけ

### 5千万円寄付、地域商品券の財源に

「西脇市は財政をうまくやりくりしたもんじゃない」。デスクの言葉に私も同感だったが、からくりがあったようだ。

8月初め、西脇市議会臨時会で可決した一般会計補正予算案。18歳までの子どもを持つ家庭に1人当たり5千円の地域商品券を支給することが盛り込まれた。対象人数は約6千人で、事業費は約3千万円。北播磨の周辺自



西脇市の竹内さん夫妻

治体と比べても大規模な給付額だ。実はこの事業の財源は、3月に竹内保治さん、直美さん夫妻が市に寄付した5千万円。2人は「新型コロナウイルス対策に役立ててほしい」と望み、市は西脇病院に消毒用のロボットを導入。余剰金を子育て世帯への支援に充てたという。

予算計上前、竹内夫妻が経営する喫茶店「なみ」に市職員が訪れた。使用道変更の了承を得るためだったが、保治さんは「いっぺん渡しとるんやから、好きにせんかい」と快諾。最近、記者が店をのぞくと、保治さんは「新型コロナで遊びに出られへん子が、おやつでも買ってくれたらええな」と、愉快そうにカウンターでビールグラスを傾けていた。写真右。

商品券として子どもたちに配られた5千円は寄付額の1万分の1。夫妻の善意は薄く広く、市内に行き渡る。受け取った人はさらにその10分の1の金額で、「なみ」のコーヒーを飲みに行つてはどうか。「ありがとう」の言葉が、街に循環していくのではないか。(伊田雄馬)



伊田記者

8月25日の朝刊にのった記事

①西脇市が18歳までの子どもを持つ家庭に配るものは何ですか。それは市全体で何人に配られますか

②この事業にはどんなお金が使われますか

③西脇市はこのお金でほかにどんなものを買いましたか

④写真に写っている男性が子どもたちに願うことは何ですか

答えは18日の「週刊まなびー」にのるよ。



もっとワークシートをやってみたいと思った人は、電子版「神戸新聞NEXT」の「神戸新聞NIE」コーナーでワークシートを検索してみてください。たくさんあるので興味のある新聞記事を選んでね。今回のワークシートの答えは、メール(kobe-nie@kobe-np.co.jp)か、はがき(〒650-8571 神戸新聞社「週刊まなびー」ワークシート係)で、名前と学年、または年齢を添えて9月17日必着で送ってね。正解者の中から、抽選で毎月10人に神戸新聞の記念品をプレゼントします。

4日  
週刊まなびー

ワークシートの  
解答例

- ①例=仙台育英、東北勢初V
- ②甲子園大会での優勝がなかった東北勢の悲願を表した言葉。白河の関は古代日本における関所の一つで、奥州(現在の東北)の玄関口として知られた。今回、優勝旗が白河の関を初めて越えた
- ③西宮▽宮城▽大阪桐蔭
- ④自由記述